

2. 調査対象のプロフィール

調査対象の主な属性は以下の表の通りである。

年齢層 (N=409)		
	度数	%
19歳以下	25	6.1
20歳～24歳	140	34.2
25歳～29歳	136	33.3
30歳～34歳	75	18.3
35歳以上	28	6.8
無回答	5	1.2
合計	409	100.0

f2.性別 (N=409)		
	度数	%
男性	343	83.9
女性	64	15.6
無回答	2	0.5
合計	409	100.0

f3.父親 (N=409)		
	度数	%
いる／同居	328	80.2
いる／非同居	29	7.1
いない／生別	23	5.6
いない／死別	17	4.2
無回答	12	2.9
合計	409	100.0

f4.母親 (N=409)		
	度数	%
いる／同居	363	88.8
いる／非同居	24	5.9
いない／生別	5	1.2
いない／死別	7	1.7
無回答	10	2.4
合計	409	100.0

f7.保護者の職業 (N=409)		
	度数	%
民間企業勤務	161	39.4
公務員	48	11.7
団体職員	9	2.2
自営・会社役員	50	12.2
専門的職業(医師・弁護士など)	7	1.7
農林水産業	6	1.5
アルバイト・パートなど	16	3.9
無職・求職中	35	8.6
その他	11	2.7
無回答	66	16.1
合計	409	100.0

f8.低所得証明 (N=409)		
	度数	%
あり	106	25.9
なし	289	70.7
無回答	14	3.4
合計	409	100.0

3. これまでの就労経験

これまでに正規雇用の経験のある者は21.3%で、うち31.0%は雇用期間が2年を超える。「派遣・契約」の雇用経験のある者は7.1%、フルタイムのアルバイトの雇用経験のある者は24.2%、パートタイムのアルバイトの雇用経験のある者は33.8%であった（以上重複あり）。

4. これまでの生活歴

これまでの生活歴を見ると、「ひきこもり」55.5%、「対人関係の苦手意識」68.9%、「精神的な障害」26.7%、「身体的な障害」2.9%、「生活習慣の乱れ」58.9%、「学校不適応」57.0%、「素行不良」8.8%、「親子関係のトラブル」27.9%、「友人関係のトラブル」19.6%、「職場でのトラブル」20.3%、「深刻な挫折経験」43.0%という該当率であった。

f9.11.0.ニート歴(期間) (N=409)		
	度数	%
1年以下	86	21.0
1年超～3年以下	142	34.7
3年超～5年以下	69	16.9
5年超	71	17.4
無回答	41	10.0
合計	409	100.0

f9.11.ひきこもり (N=409)		
	度数	%
経験あり	237	57.9
経験なし	149	36.4
無回答	23	5.6
合計	409	100.0

f9.11.1.ひきこもり期間 (N=237)		
	度数	%
1年以下	51	21.5
3年以下	89	37.6
5年以下	43	18.1
それ以上	47	19.8
無回答	7	3.0
合計	237	100.0